

東京農工大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	201,183円	学内の教職員・学生
日本赤十字社	53,642円	学生有志（工学部・工学府）

2. 研究活動

石川芳治教授（農学研究院）が、以下の活動を行った。

①被災地での現地調査

1回目：4月16、17日・・・主として4月16日の本震による阿蘇地区および益城町での土砂災害（斜面崩壊、地すべり、土石流）の発生状況を調査した。

2回目：4月22～24日・・・公益社団法人砂防学会の「平成28年熊本地震に係わる土砂災害緊急調査団」の第一次調査団長として、合計13名で地震による土砂災害の実態とその後の豪雨や余震による二次災害の可能性について調査を行った。また、調査結果に基づいて、二次災害を防止・軽減するための対策手法について検討した。

3回目：6月25～26日・・・6月20～22日に発生した豪雨による阿蘇地区の二次的な土砂災害について、実態を調査するとともに、今後の被害の拡大の可能性について調査を行った。

4回目：7月22～24日・・・公益社団法人砂防学会の「平成28年熊本地震に係わる土砂災害緊急調査団」の第四次調査団長として、合計23名で梅雨期の豪雨による二次災害の実態と今後の台風にとまなう豪雨等による土砂災害の拡大の可能性について調査を行った。また、調査結果に基づいて、二次災害を防止・軽減するための対策手法について検討した。

②学会等での調査結果の報告

4月27日；東京都千代田区において「第一次緊急調査報告会」（砂防学会主催）を開催し熊本地震に係る土砂災害に関する第一次緊急調査団による調査結果を広く一般に公開した。報告の資料は砂防学会のホームページに掲載されている。

5月6日：公益社団法人砂防学会会長として、第一次緊急調査の結果を基に熊本地震に係る土砂災害と二次災害の防止に向けた対応方針について述べた「緊急提言」をまとめた。なお、緊急提言の内容は砂防学会のホームページにおいて公開されている。

◆砂防学会ホームページ：www.jsece.or.jp/indexj.html

公益社団法人砂防学会会長として、国土交通省西山砂防部長にこの「緊急提言」を提出するとともに説明を行った。

7月16日：防災学術連携体（日本学術会議）の「熊本地震・三ヶ月報告会」において砂防学会を代表して緊急調査（第一次～第三次）の調査結果を報告した。報告の資料は防災学術連携体のホームページに掲載されている。

◆防災学術連携体ホームページ：[http://janet-](http://janet-dr.com/11_saigaiji/160716kyushu_houkokukai/20160716pdf/41_jsece.pdf)

[dr.com/11_saigaiji/160716kyushu_houkokukai/20160716pdf/41_jsece.pdf](http://janet-dr.com/11_saigaiji/160716kyushu_houkokukai/20160716pdf/41_jsece.pdf)



熊本地震により発生した阿曾大橋付近の大規模な斜面崩壊（H28.4.16撮影）



阿曾大橋付近の大規模な斜面崩壊の周辺の斜面上の亀裂（H28.4.23撮影）